

事業概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ブータン王国
2. 事業名	ブータン王国での美術指導力の向上とアートを通じた地域活性化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ブータン王国では2013年から公教育において美術の授業がスタートしたが、王立教育委員会（以下「REC」という。組織改編により現在は「ブータン王国教育省カリキュラム専門開発局」。）の担当者や教員を指導する立場にある教員でさえ、専門的な美術教育を受けておらず、手探りで進んでいた。RECの要請を受け2017年より「ブータン王国における美術教育支援事業」を通じて、美術カリキュラム作成委員の能力向上、パイロット校における美術教育の改善を図った。2020年8月に終了予定であり、教員の技術力や発想力が向上し、指導力が高まるという成果が見込まれるが、新たに「教員同士の横の連携の欠如」という問題が生じた。美術を教える教員の中には、積極的に実践を行う者もいるが、その実践を他校に広める手段はなく、悩みや問題等を共有する場がない。美術教員の研鑽のために、日本の知見を合わせたブータン独自の研修システムを作ることによって課題解決に役立つのではないかと。</p> <p>また第1フェーズでは廃材をテーマとした教材事例集を作成したものの、授業現場では廃材以外の資材も依然として不足している。そのためアートフェスティバルで作品を売り、画材購入資金を得るなどの対策を講じ、加えて地域の人々に作品に触れる機会を提供し、美術教育の重要性を理解してもらうことで、さらに美術教育が浸透していくのではないかと。学歴重視の同国において「美術で何を学べるのか」を子どもの親や地域住民に理解を得ることが重要である。さらに、子ども達の作品を通して地域の魅力を発信することは、多方面からの視線が集まり、地域住民のみならず観光客を含めた交流人口が増すことにも寄与する。</p>
4. プロジェクト目標	プロジェクト目標：美術部会や美術教育研究会活動での連携を通して、パイロット県の美術教員の授業の質が高まるとともに、美術を通じた学校と地域の交流が活性化することにより地域住民の美術教育の意義について理解が深まる。
5. 対象地域	ティンブー県・パロ県・ハ県
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在ブータン日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	<ul style="list-style-type: none"> ・直接受益者：日本で研修を受ける美術教員を含む美術教員ティンブー12校13名、パロ9校10名、ハ6校6名（対象校27校29名）、REC1名、パロ大学1名 ・間接受益者：ティンブー・パロ・ハの3地域の小学校42校約5,600人の児童、アートフェスティバルに参加する地域住民約2,000人
8. 事業活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3地域内それぞれに美術部会で、美術教員の基礎知識や技術が高まり充実した授業が展開できるようになる 2. 3地域の部会を統括する「ブータン王国美術教育研究会」を通じて地域間交流が活性化される 3. 3地域内でアートフェスティバルを実施することで、地域住民の美術教育に対する意識・理解が深まる
9. 実施期間	（西暦）2022年1月～2024年12月（計36か月）
10. 事業費概算額	10,998千円
11. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・国内実施体制：公益財団法人浜田市教育文化振興事業団が実施団体となり、総合調整、事業進行、専門家派遣、本邦研修を行う。浜田市が事業サポートを行う。 ・現地支援体制：カウンターパート機関であるブータン王国教育省カリキュラム専門開発局と連携しながら事業を実施する。現地の事業実施体制の確立や人員調整はカウンターパート機関が担当し、専門家派遣時、本邦研修受入時以外は、遠隔によりモニタリング等実施する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	公益財団法人 浜田市教育文化振興事業団
2. 活動内容	浜田市内の教育・文化及びスポーツの振興に関する事業を行い、健康で明るく心豊かな文化のかおるまちづくり並びに国際的な文化活動の推進に寄与するとともに、市民福祉の向上を図ることを目的とする。